2023年度 社会福祉法人鶴見あけぼの会 事業報告

1. 保育事業

　憲法・児童憲章・子どもの権利条約などの精神に基づき、子どもたちが心身共に健やかに育つことをめざし努力してきた。

1. 入所状況等について

　2023年４月1日時点の入所児童数は、鶴見あけぼの保育園は定員60名＋定員外9名に対し61名、矢向あけぼの保育園は定員60名に対し52名であった。月平均入所児童数は、鶴見あけぼの保育園は65.4名、矢向あけぼの保育園51.6名であった。

　鶴見あけぼの保育園12名、矢向あけぼの保育園10名が卒園した。

1. 保育事業

○5月8日から新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」へ移行し、保護者参加型の取り組みが増えた。

（子どもたちのブログラム）

　夏まつり、プール活動、お泊り保育、運動会、ザリガニ釣り、おにぎり遠足、お芋ほり遠足・いも焼き会、さんままつり、火起こし、おじいちゃんおばあちゃんの会、クリスマス会、七草がゆ、餅つき、節分、いわし焼き、コマ大会、コンサート、語りの会、響太鼓講演、誕生（日）会、卒園式、進級式、お別れ会、お弁当の日

（保護者参加プログラム）

　夏まつり、プールの設置、片付け、運動会、おじいちゃんおばあちゃんの会、卒園式、進級式、クラス懇談会、園説明会、三者懇談会、運営協議会

○新型コロナウイルスの感染拡大は収束したが、インフルエンザ、胃腸炎、アデノウィルス、溶連菌、水痘などの感染症の拡大があった。

○その他の取り組み

　保育実習、矢向・市場・潮田中学校職業体験、地域支援企画（「いただきます」映画鑑賞会、ハンドベルコンサート）

1. 人事について

○入職 保育士（契約含む）2名、派遣保育士2名、パート保育士3名、パート調理補助2名、派遣調理補助1名

○退職 保育士（契約含む）3名、派遣保育士1名、調理師1名、パート保育士1名、派遣調理補助1名

1. 横浜市の一般指導監査結果について

○鶴見あけぼの保育園；2023年9月21日実施。職員の配置基準、給食の栄養量について口頭指導があった。

○矢向あけぼの保育園；2023年9月20日実施。給食の栄養量について口頭指導があった。

1. 第三者評価受審結果について

○鶴見あけぼの保育園；訪問調査2023年12月7日実施。評価結果確定2024年2月27日。総評「①子どもの育つ力を信じ、主体性を尊重しています。②保護者と協力して運営に当たっています。③地域に根差した保育・子育て支援を展開しています。④新たな保育士確保のルートが期待されます。⑤個別対応に工夫が期待されます。」

○矢向あけぼの保育園；訪問調査2024年1月9日実施。評価結果確定2024年3月1日。総評「①一人ひとりを大切にし、子どもの自主性を育てる保育を行っています。②子どもの生活と遊びを豊かにする保育に取り組んでいます。③地域との連携と地域への支援を行っています。④中期計画の実践が期待されます。⑤職員の育成に向けた仕組みの明確化が期待されます。」

1. 本部事業
2. 法人・保育園中期計画を、評議員会での討議を経て2023年度第5回理事会（2024年3月16日）で決定した。
3. 法人運営

○法令遵守と開かれた法人運営に努めた。

○役員の改選があった。新理事会で理事長に熊谷豊壽理事、業務執行理事に門屋慎一理事、保育業務担当理事に穴井真紀子理事が選定された。

○社会福祉法人鶴見あけぼの会に顧問を置くことし、前理事長の星田一雄さんを顧問とした。

1. 研修

○キャリアアップ研修を重点的に実施した。対象者・受講修了者は28名

1. 規程の改定は以下のとおりである。

○経理規程の改定；あけぼの共同保育所の廃止に伴う、あけぼの共同保育所に関する条文の削除。

1. 行政庁、法務局への届出は以下のとおりである。

○2022年5月10日に、横浜市長に届け出をし、保留となっていた児童福祉施設（保育所）及び特定教育・保育施設認可・確認内容変更届（矢向あけぼの保育園屋外遊戯場の変更）が2023年4月11日に受理され、2023年5月2日に内容が確認された。

○2023年6月26日に横浜市長に児童福祉施設（保育所）及び特定教育・保育施設認可・確認内容変更届（定款・役員）を行った。

○2023年6月27日に、横浜地方法務局に理事長変更登記申請を行った。

○2023年10月3日に、横浜市長に控除対象寄附金指定事項変更届（定款・履歴事項全部証明書記載の目的）を行った。

○2023年11月9日に、神奈川県知事に個人県民税の寄附金税額控除の対象となる寄附金に関する変更届（あけぼの共同保育所の廃止）を行った。

○2024年1月9日、横浜市長と川崎市長に2023年分控除対象寄附金受領報告書を提出した。

○2024年3月16日に矢向あけぼの保育園、2024年3月25日に鶴見あけぼの保育園の時間外労働に関する協定書を鶴見労働基準監督署に届出した。

1. 研修等への参加（役員）について

○神奈川民間保育園経営研究会　講演学習会と第18回総会； 子ども権利条約と保育～子ども達の発達保障する保育を現場から考え創り出していくために～　大宮勇雄氏　（福島大学名誉教授）

○発達理解実践研究会；「保育の歩む・いま・未来へ」～自分をみつめ・子どもと共に保育の自由を考える　近藤幹生氏　（元白梅学園大学学長）

○第55回全国保育団体合同研修集会；語りあおう　子どものいのちと育ち　拡げよう　子育ての輪　つくりだそう　平和な世界

○全国民間保育園経営研究懇話会　夏季セミナー；すべての子どもたちの権利保障と豊かな発達を願って

○神奈川民間保育園経営研究会講演会；真の「こどもまんなか」を実現するために　　　　　　　　　　保育園の役割を考える　　村山祐一氏　（保育研究所所長）

○第43回民間保育園経営研究セミナー；①シンポジウム；「子育てしにくい社会」を足元から変えていくために―民間保育園の役割と課題、②記念講演：世界で最初に飢えるのは日本！？―食から考える日本の安全・平和・子どもたちの未来　鈴木宣弘氏　（東京大学大学院教授）

1. 鶴見あけぼの保育園の公有財産使用貸借契約が2024年3月31日で満了することに伴い、新たに横浜市と公有財産賃貸借契約を締結した。期間2024年4月1日から20年、プラス10年である。

　なお、鶴見あけぼの保育園の園舎建設時借入金の返済は2025年4月で完済する。

1. 保育の充実、職員の処遇の改善のための取り組みについて

○「すべての子どもに　安心、安全で質の高い保育を平等に　予算の増額と保育士の増員を」の国会請願署名などの署名に取り組んだ。

○横浜市こども青年局との懇談、鶴見区交渉などに参加した。

3.会議報告等

(1)評議員会

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 開催日 | 出席者数 | 主な内容 |
| 定時 | 2023年6月24日(土） | 評議員4名  理事4名  監事2名  オブザーバー2名 | 2022度決算報告の承認及び監事監査報告の件、理事及び監事の選任の件、2022度事業報告 |
| 臨時 | 2024年3月16日（土） | 評議員5名  理事4名  監事1名 | 役員報酬総額の承認の件、中期計画案・2024年度事業計画案・2024年度予算案の報告 |

(2)理事会

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 開催日 | 出席者数 | 主な内容 |
| 第1回 | 2023年5月27日(土） | 理事4名  監事2名 | 2023年度定時評議員会の招集の件、2022年度事業報告の承認の件、2022年度決算報告案の承認及び監事監査報告の件、理事及び監事の選任案の決定の件、経理規程の改定の件、マネジメントリスクプロテクション保険の承認の件、理事長及び業務執行理事の業務執行状況の報告、令和4年度児童福祉施設の一般指導監査結果 |
| 第2回 | 2023年6月24日（土） | 理事6名  監事2名 | 理事長の選定の件、業務執行理事及び保育業務担当理事の選定の件、評議員選任・解任委員の選任の件、顧問設置要領（案）と顧問の推薦の件 |
| 第3回 | 2023年12月2日（土） | 理事6名  監事2名 | 評議員会の招集の件、2023年度補正予算の承認の件、2024年度予算編成方針の承認の件、電話機一式交換の承認の件、パートタイマー就業規則（別紙）パート職員賃金表及び契約職員給与規程別表契約職員給料表の改定、理事長及び業務執行理事の業務執行状況の報告、中期計画策定の進捗状況 |
| 第4回 | 2024年3月2日（土） | 理事6名  監事1名 | 中期計画案の承認の件、役員報酬総額案の承認の件、給与規程別表1給料表の改定の件、2024年度事業計画案の承認の件、2024年度予算案の承認の件、パートタイマー就業規則（別紙）パート職員賃金表の改定の件、理事長及び業務執行理事の業務執行状況の報告、令和5年度児童福祉施設の一般指導監査結果 |
| 第5回 | 2024年3月16日（土） | 理事5名  監事1名 | 中期計画の承認の件、2024年度事業計画の承認の件、2024年度予算の承認の件 |

(3)運営協議会

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催日 | 出席者数 | 主な内容 |
| 2023年7月15日(土） | 委員6名  理事5名 | 2023年度事業計画について、中期計画の構成と課題について |
| 2024年2月10日(土） | 委員6名  理事5名 | 中期計画案と保育園の2024年度の重点課題について |

1. 監事監査

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催日 | 出席者数 | 主な内容 |
| 2023年5月18日（木） | 監事2名 | 2022年度事業報告及び財産目録、貸借対照表及び収支計算書の監査 |

1. 実務者会議

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 開催日 | 出席者数 | 主な内容 |
| 4月度 | 2023年4月19日（水） | 5名 | 各施設の報告・人事、2022年度決算見込、次期役員候補について、第1回理事会、定時評議員会の議案について、令和4年度児童福祉施設の一般指導監査結果について |
| 5月度 | 2023年5月17日（水） | 5名 | 各施設の報告・人事、4月度決算報告、次期役員候補について |
| 6月度 | 2023年6月21日（水） | 5名 | 社会福祉法人鶴見あけぼの会顧問の設置について、各施設の報告・人事、5月度決算報告、夏季一時金について、第1回運営協議会について |
| 7月度 | 2023年7月19日（水） | 6名 | 各施設の報告・人事、2023年度第1四半期決算報告、第1回運営協議会の報告 |
| 8月度 | 2023年8月23日（水） | 6名 | 各施設の報告・人事、7月度（累計）決算報告、法人として取り組む運動とは |
| 10月度 | 2023年10月18日（水） | 6名 | 各施設の報告・人事、9月度（累計）決算報告、最低賃金改定に伴うパートタイマー就業規則（別紙）パート職員賃金表及び契約職員給与規程別表契約職員給料表の改定について、矢向あけぼの保育園労働組合の要望書の取扱いについて、横浜市一般指導監査について |
| 11月度 | 2023年11月15日（水） | 6名 | 各施設の報告・人事、10月度（累計）決算報告、冬季一時金・2023年度補正予算案について、2024年度予算編成方針案について、中期計画策定の進捗状況について、2023年度第3回理事会について |
| 1月度 | 2024年1月17日（水） | 6名 | 各施設の報告・人事、12月度（累計）決算報告、中期計画策案について、2023年度第4回理事会について、2023年度第2回運営協議会について |

1. 三役会議

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日 | 2023年  4月5日（水）、5月10日（水）、6月7日（水）、7月5日（水）、8月2日（水）、9月6日（水）、10月4日（水）、11月1日（水）  12月6日（水）  2024年  1月10日（水）、2月7日（水）、3月6日（水） |
| 主な内容 | 中期計画案、次期役員候補、理事会の議案、評議員会の議案、運営協議会の議題、夏季・冬季一時金、最低賃金改定への対応、園長面談、水道代高騰への対応、矢向あけぼの保育園労働組合の要望書への対応、2023年度補正予算案、2024年度予算編成方針案、2024年度事業計画案・予算案 |

1. 園長会

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日 | 2023年  4月19日（水）、5月17日（水）、6月21日（水）、8月23日（水）、10月18日（水）、11月15日（水）  2024年  1月10日（水）、1月30日（火）、2月29日（木） |
| 主な内容 | 職員緊急連絡方法の確認、保育運営マニュアル、職員の感染症罹患時の対応、特別休暇（慶弔）、職員の研修受講カルテ、職員体制、調理室体制、第三者評価の内容確認、中期計画（案）、監査結果、副園長配置、保護者緊急連絡方法、事業計画、不適切保育 |

1. 栄養士会

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日 | 2023年  5月22日（月）、6月27日（火）、7月27日（木）、8月22日（火）、9月26日（火）、10月12日（木）、12月21日（木） |
| 主な内容 | 献立の検討、夏まつりの取り組み、パソコンデータの統一、調理室の体制、栄養数値の改善の検討、窒息事故防止対策、グリストラップ清掃事故防止、卵メニューの導入、カルシウム不足への対応、ビタミンB2の数値改善の取り組み、さんままつりの取り組み、誤食、誤嚥対策 |

1. 事務会議 　開催なし

1. 理事長による管理職面接

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日 | 主な内容 |
| 2023年7月26日（水） | 矢向あけぼの保育園園長面接（園運営・中期計画について） |
| 2023年8月23日（水） | 鶴見あけぼの保育園園長面接（園運営・中期計画について） |
| 2024年3月 6日（水） | 事務局長面接（法人運営について） |

2023年度　鶴見あけぼの保育園 事業報告

〈保育〉

開園から19年目の2023年度は、新型コロナウイルス感染症が5月8日から5類感染症となり一段落したことから、子ども主体の保育を取り戻せた年となった。

園児数は、4月に0歳児3名・1歳児3名の計6名を新たに迎え全61名で保育をスタートした。深刻な園児不足で始まったため、当初より毎月0歳児を募集したが直ぐには充足せず、運営上不安を余儀なくされた。0歳児は、8月に1名・10月に2名・12月に1名・1月に1名を受け入れ8名入所とし、年度後半は全体で68名となった。

厳しい状況の中でも、理念・方針・保育目標を念頭に置き、子ども達ひとりひとりの発達を保障する保育を展開し、保護者とは行事や三者懇談会、保育参加（又は参観）を通して子どもの育ちを共有し合い「共同の子育て」「共育て」を取り戻した年だった。

園だよりを毎月発行し子ども達の豊かな育ちを伝え、保護者や園関係者に配布・送付した他、ホームページ上で紹介した。

〈職員体制〉

4月、新たに正規保育士1名と派遣保育士1名、以前退職した保育士2名をパート職員として迎えスタートした。

年度当初より全クラス複数担任配置（又は保育士を補助配置）し、フリー保育士として常勤2名・パート3名（週5日1名・週3日2名）を配置した。年度途中の7月に1名が産休に入ったため常勤フリー保育士を代替担任とし1歳児クラスに配置。産休・育休取得職員分を補充できないまま年度末を迎えることになったが、残業やパート保育士の活躍、体制工夫で乗り切った。

一時保育はパート保育士2名を配置し、非定型（仕事）要件・リフレッシュ要件の子どもを安心・安全に保育した。

土曜保育は、土曜日専任のパート保育士1名を配置し、毎週常勤保育士との組み合わせで保育を行った。土曜専任パートは、平日にできない業務（掃除・消毒等）も担った。

調理室職員の7月末退職に伴い体制確保が厳しくなったため、常勤栄養士の負担が大きくなった。解決に向け矢向あけぼの保育園と連携、支援を受け、調理体制を整えた。また、「あけぼのの力になりたい」と17年前の卒園児達が集まって、園児確保について話し合ってくれた。その中の一人の卒園児をパート雇用し、調理補助の他、事務補助業務を担ってもらうことができた。

年度末の３月初めに常勤保育士が急な病休となり、保育体制が厳しくなった。パート保育士の予定外勤務や常勤職員の残業などで乗り切った。

〈資質向上・職員集団づくり〉

職員の資質向上・保育の継承・園児との丁寧なかかわりを目指して、全クラス複数担任体制で保育し、園児の午睡中に時間を確保して会議（乳児・幼児・代表者・行事・給食・全職員）を開催した。

　発達支援のために作業療法士や東部療育センター・民間療育機関の巡回訪問や申し送り等を得、連携した。発達に躓きのある子どもの低年齢化に伴い、0歳児期から専門的な視点や知識が求められるため学び続ける必要があり、木村順先生（作業療法士）の子どもの発達研修は保育士以外の栄養士も参加した。10月には地域子育て支援事業の一環で発達支援のための保護者学習会を開催し、職員も参加し学びを深めた。

年長児の就学がスムーズになるように、担任が小学校の児童支援担当者と電話で話したり訪問を受けたりし引継ぎを行った。

虐待要件・福祉要件で関係機関とつながっていた児童については、保護者と連絡を取り状況把握したり、児童相談所と情報共有したりしたが、途中退園となった。

研修受講に関しては、個々でオンライン研修（全国保育団体合同研究集会・新日本医師協会主催研修・保育問題協議会研修）を受講した。

保育士キャリアアップ研修は、13名が9分野を受講することができた。（別紙参照）

専門チーム（防犯防災・保健衛生管理・安全事故防止・子育て支援・研修）の活動では、防犯防災チームが、年度後半に非常食・非常備品の確認整理をするなど意識的に活動した他、保健衛生管理チームが、医療備品の補充確認を適時行った。子育て支援チームは、鶴見中央地区の出張保育さくらんぼの会に出向き、地域の親子にあそびを紹介したり、園紹介をしたりした他、園で地域子育て支援講座・交流を主催した。安全事故防止チーム・研修会チームはチームとしての会議開催に代わり、園長・主任・リーダーの適時対応となった。

年度後半、職員は園長と面談し、保育所職員としての振り返りと今後の目標を確認した。

保育実習生を6月と7月・9月に2校2名受け入れ、保育士養成に協力し、園側も学びを得た。中学生の職業体験も潮田中学校と市場中学校の2校から生徒を受け入れ、中学生が夢をもって次代の保育を担えるよう取り組んだ。

〈安全事故防止・危機管理〉

事故・怪我の発生時は、適時全職員が共有し再発防止に努めると共に、改めて毎月の職員会議で確認し合った。園児の登降園が確実に行われるよう、園長は事務職員と連携して毎朝9時の時点で登園確認をするとともに、お迎え者・お迎え時間の確認を徹底した。保護者が一覧表に記入していない場合はメール連絡し、お迎え者・お迎え時間の確認作業を行った。

夏のプール活動では、必ず監視員を配置し安全第一に実施した。

毎月、担当者を中心に避難訓練を実施し、火災・地震・浸水・不審者発生の有事に備えた。

〈保護者との連携〉

　園のモットーとしてきた保護者会との連携や行事を通して喜びを分かち合うことをコロナ以前のように再開することができた。大掃除やプール組み立て・プール解体作業に力を発揮していただき職員も励まされた。年2回開催の三者懇談会やクラス懇談会を対面で開催し、保護者からの意見要望を得、園の現状や考えについて伝え、子ども達の成長や子ども主体の保育を保護者と分かち合い、共同の子育ての原点に立ち戻ることができ、希望・展望を抱きながら保育・子育てに励むことができた。

　また、保護者会活動を支援し、ゆずゆず会（子ども用衣類の譲り合い会）や保護者学習会の絵本講座の際は、園ホールを貸し出し充実した活動に繋げた。

　三者懇談会で、園児不足の状況と夏のプール活動に伴う水道代の件が園から投げかけられたことに伴い、保護者会や保護者個人から寄付の申し出を受けた。子ども達の活動保障と保育の充実に向け、保護者会や保護者個人が様々に支援してくださっていることに励まされ、感謝の思いだった。

〈地域連携〉

入所希望者の保育園見学会を9月～11月にかけて週一回開催し、約30名の入園希望者が参加した。その後も、希望者がいれば適時、園長が対応した。

和太鼓演奏や焼き芋会・秋刀魚まつり開催前には、近隣にお知らせ文書を配付し、騒音や火煙発生等に対する理解・協力を仰いだ。

　園児がシャワーを浴びる姿が近隣住民に見える状態になっていたこから「不適切対応」の指摘及び注意喚起が区役所を通して行われた。園長は早急に職員に聞き取りをし、目隠しシートを設置、同時に子どもの人権擁護及び性被害防止の観点から、職員全体に注意喚起を行った。近隣住民の率直な指摘と区からの連絡に感謝した。園の対応や子どもの安全を近隣住民が気にしてくださっていることがわかり、近隣との付き合いの大切さを実感した。

　年末には近隣へのあいさつ回りを行い、いわさきちひろカレンダーを手渡しながら日頃の感謝を伝えた。

〈設備整備・修繕関係〉

　かねてよりの課題であった、1階沐浴室の大規模修繕工事とそれに伴う乳児室の床修繕工事を4月下旬～5月上旬にかけ予定通りに実施した。工事の影響によりネズミの発生があり、害虫駆除業者に依頼し殺鼠剤を置くなど対応した。子ども達の保育や健康に影響がないようにしながら、適切の対応することができた。

　12月には、園内固定電話機とコードレス電話全ての入れ替え作業を実施し、同時に2階にWi-Fiルーターを新設した。

　園舎の外壁レンガ部分の劣化が判明したため業者に工事を依頼している。

庭師による園庭樹木の害虫駆除・整備等を例年通り行った。

〈第三者評価の取り組み〉

・5月 第三者評価機関より取り組み方の説明（職員）

・７月～8月 職員による保育のグループ討議及び職員記入書類提出

　９月下旬 利用者アンケート（WEBで個々に実施）

　　　　　　　職員自己評価（WEBで個々に実施）

・10月　 自己評価のまとめと確認作業

関係書類の整備と送付

・12月中旬　 訪問調査

・2月下旬　　報告書の最終確認

・3月上旬　　WEBにて公表

1.園児数の推移　（通常保育）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位　名）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 定員数 | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 | 開園日数 |
| 4月 | 60 | 3 | 11 | 11 | 12 | 12 | 12 | 61 | 24日 |
| 5月 | 60 | 3 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 63 | 24日 |
| 6月 | 60 | 3 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 63 | 26日 |
| 7月 | 60 | 3 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 63 | 25日 |
| 8月 | 60 | 4 | 13 | 12 | 13 | 12 | 12 | 66 | 26日 |
| 9月 | 60 | 4 | 13 | 12 | 13 | 12 | 12 | 66 | 24日 |
| 10月 | 60 | 6 | 13 | 12 | 13 | 12 | 12 | 68 | 25日 |
| 11月 | 60 | 6 | 13 | 12 | 13 | 12 | 12 | 68 | 24日 |
| 12月 | 60 | 7 | 12 | 10 | 13 | 12 | 12 | 66 | 24日 |
| 1月 | 60 | 8 | 12 | 10 | 13 | 12 | 12 | 67 | 23日 |
| 2月 | 60 | 8 | 12 | 10 | 13 | 12 | 12 | 67 | 23日 |
| 3月 | 60 | 8 | 12 | 10 | 13 | 12 | 12 | 67 | 25日 |
| 合計 | 720 | 63 | 147 | 135 | 152 | 144 | 144 | 785 | 293日 |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（昨年度比　13名減）

2．人事・体制

4月 園長 　　　穴井真紀子

　　　　　　 主任保育士 　　　1名

常勤保育士 　　　10名

契約保育士 　　　1名

保育士パート 　　　 8名

朝保育補助パート 　 1名

栄養士　　　　　　　1名

　　　　　　 調理師 　　　　　　1名

　　　　　　 調理師パート　　　　2名

　　 夕方調理保育パート　2名

　　　　　　 事務員（常勤）　　　2名

派遣保育士　　　　　1名

年度初職員数 常勤16名、契約1名、パート13名、派遣1名　　計31名

4月　 派遣保育士　　　　　新規契約　1名

　　　　　　　パート保育士　　　　新規雇用　2名

　 5月　 派遣調理補助　　　　新規契約　1名

　　　　　　　派遣調理補助　　　　契約終了　1名

　　 6月　 パート保育士　　　　新規雇用　1名

　　　 7月　 正規調理師　　　　　退職　　　1名

　　 8月　 正規調理師 矢向あけぼの保育園より応援勤務　1名

　　 9月　 パート調理補助　　　矢向あけぼの保育園より応援勤務　1名

　　　　　　　パート調理補助　　　新規雇用　1名

　　 3月　 常勤保育士　　　　　退職　　　1名

　　　　　　　派遣保育士　　　　　契約終了　1名

年度末職員数　常勤15名、契約1名、パート15名、派遣1名 計32名

3.会議・行事

コロナ禍以来、職員の労働強化にならないように夜残らず、平日の日中に職員会議を開催した。

年間で計画した行事は、ほぼ予定通り開催し、保護者の行事参観をリアルで進められたことは、職員・保護者両者の喜びと励みになった。夏祭りは卒園児に案内し盛大に開催でき、運動会は4年ぶりに0才児つくし組から5歳児とんぼ組までの全クラスが集い保護者も参観、コロナ前同様、子どもの育ちを共有し合うことができた。卒園式・進級式は、保護者以外の家族も参観し、子ども達の成長を共に喜び合えた。

三者懇談会は7月と11月の年2回ホールに集まって開催し、夏季の保育を保障するプール活動時の水道代についての現状を報告。プール代徴収について提案し、保護者の意見をいただいた他、年度末に発行している文集について話し合うことができた。

コロナ禍等の影響により食の行事が制限されてきたが、食文化を子どもたちに伝えることを再確認し、秋刀魚まつり・七草がゆ・園庭での餅つき会を再開し、準備に関わり・過程や道具を知り・食を楽しみ、充実した取り組みとなった。

　 行事は、子ども達ひとりひとりが日々の積み重ねの中で成長・発達すること（当日までの過程を大切に）主体的に取り組むことを大切にし、主任や各行事担当者を中心に極力皆の意見を出し合いながら、適時会議を重ね進めた。

　第三者評価をコロナ感染の影響により受審できずにいたが、前年度末より、株式会社フィールズに相談・依頼でき、7年ぶりに受審することができた。日々の保育業務を進める中での取り組みで大変ではあったが、客観的に園運営や日々の保育を見直し振り返ることができ貴重なものとなった。

（1）会議・健診

　 ・適時実施 クラス代表者会議、乳児会議、幼児会議、給食会議

　　　　　　　　　　 リーダー会議（園長・主任・リーダー）、職員会議

・毎月実施　　園児身体測定、避難訓練、誕生日会、職員腸内細菌検査

　　　 ・年2回実施　園児健康診断（6月・11月）、大掃除（6月・11月）

歯科検診（7月・11月）、三者懇談会（7月・11月）

　　　 ・年1回実施　調理職員合同会議（4月）、3歳児視聴覚検査（10月）

尿検査（11月）、職員健康診断（5月～3月）

職員インフルエンザ予防接種実施（10月）

（２）行事

4月　　　　 入園説明会（各保護者ごと）

3歳児　遠足（鶴見川土手）

4歳児　遠足　（下末吉公園）

　　 5月　　　　 クラス懇談会（1歳児～5歳児）

　　　　　　　　　　 4・5歳児　ザリガニ釣り遠足（入江川せせらぎ緑道）

　　　　　　　　　　 5歳児　ザリガニ釣り遠足（入江川せせらぎ緑道）

　　　　　　　　　　 4・5歳児　おにぎり遠足（横溝屋敷）

　　　　　　　　　　 木村順先生（作業療法士）療育巡回訪問

7月　　　　 夏まつり

七夕

5歳児　遠足（念珠坂公園・梅田川）

4・5歳児　生き物探し遠足（侍従川）

　　　 8月　　　　 スイカ割り

　　　　　　　　　　 5歳児　遠足（はまぎんこども宇宙科学館）

　 9月　　　　 年長交流（つめくさ保育園との交流）

　　　　　　　　　　 年長交流（矢向あけぼの保育園との交流）

　　　　　　　　　　 4歳児　おにぎり遠足

　　　　　　　　　　 横浜市指導監査

　　 東部療育センター巡回訪問

10月　 　　　 5歳児　お泊り保育（国立科学博物館）

木村順先生の発達講座・相談会（保護者向け）

秋刀魚まつり

　　　　　　　　 運動会（鶴見小学校にて開催）

　　　 11月　 　　 秋刀魚まつり

2～5歳児　芋掘り遠足（緑区新治町）

焼き芋会

　　 クラス懇談会（0歳児～3歳児）

　 4歳児　遠足（新治市民の森・念珠坂公園）

　　 5歳児　遠足（国立科学博物館）

　　 12月　　　 音楽会(森のゆかいな三人組)

クリスマス会

　　 木村順先生（作業療法士）療育巡回訪問

　　 1月　　　　 クラス懇談会（0歳児・2歳児）

　　　　　　　　　　 餅つき会

　　　　　　　　　　 七草がゆ

　　　　　　　　　　 3歳児　おにぎり遠足（総持寺）

　　 2月　　　 節分

　　　　　　　　　 こま大会

　　 クラス懇談会

　　　　　　　　　 中学生職業体験（市場中学校・潮田中学校）

　　　　　　　　　 保育園説明会

3月 　 卒園式

　　　　　　　　 進級式

5歳児　卒園遠足（三ツ池公園）

3歳児　遠足（潮田公園）

2歳児　遠足（總持寺）

　　　　　　　　　　 1歳児　遠足（園内活動とお弁当）

　　　　　　　　　　 0歳児　お弁当の日（お散歩後、園庭にてお弁当）

　　　　　　　　　　 4・5歳児　お別れ遠足（はまぎんこども宇宙科学館）

　　　　　　　　　　 4歳児　火起こし（山田陽二さんを講師に園庭にて）

　　　　　　　　　 棗田さんの語りの会（3・4・5歳児）

　　　　　　　　　　 年長児とのお別れ会

　 記念文集第号１９号発行

新入園児入所説明・面談

4．職員研修

子ども達のより良い育ちのために、又自分自身のためにオンライン受講や現地受講し研修参加した。他園への見学研修・全国保育団体合同研究集会の研修・新日本医師協会主催の研修・音楽教育の会の全国大会研修・行政主催研修など幅広く受講した。保育士キャリアアップ研修は、13名が9分野を受講した。

研修参加職員からは、「これ迄自分が常識と思っていた内容とは大幅に変わっていることもあり、新しいことを学ぶ意義を実感した。」などの感想が寄せられ、研修受講の意味を再確認した。（別紙参照）

5.施設整備・修理・購入品

4月　　　 1階沐浴室改修工事

1階乳児室床張り替え及びサンダー掛け工事

5月　　　　 浄水器カートリッジ交換（太陽食品）

　　　　　　　　消防設備点検（富士防災）

ゴキブリ駆除作業（ブラザー興業）

　　　 6月　　　　 エアコン・換気扇クリーニング（フォースクリーン）

　　 7月　　　　　七夕用笹竹設置（芝山造園）

園庭樹木・土壌整備（縁籐造園）

　　　 8月　　　　 箱椅子修理（材木屋）

9月 　　　　 園庭植栽手入れ（縁藤造園）

　 11月　　　 ゴキブリ駆除作業（ブラザー興業）

　　　　　　　 消防設備点検（富士防災）

　　　　　　　　 ピアノ調律（三上調律師）

12月　　　 園庭植栽剪定作業（縁藤造園）

2月　　　　　受水槽清掃（正水社）

他、3か月ごとに自家用電気工作物点検、（日本テクノ）とダムウェーダー点検（新日本リフト）の実施、年1回電気設備の保安管理業務の実施（日本テクノ）

６.地域子育て支援事業

（1）施設の地域開放

　毎月第2・第4火曜の午前10時～12時の間で実施。

（2）交流保育　 7月8日（土）　　 夏まつりへの参加と七夕飾りづくり

　　　　　　　　12月1日（金）　 音楽会（歌とピアノと打楽器を楽しもう）

　　　　　　　　2月29日（木）　 和太鼓公演

（3）育児講座　 6月10日（土）　　免疫力UP講座

　　　　　　　　10月7日（土）　　子どもの発達講座・相談会

　　　　　　　　12月17日（土） 絵本講座

7.一時保育事業

　一時保育は、パート保育士2名を配置し、専用保育室にて1歳児・2歳児を中心に非定型保育（就労）・リフレッシュ保育を安全・安心に進めた。

一時保育室の利用状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位　名）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業内容 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
| 非定型保育 | 17 | 17 | 21 | 24 | 34 | 22 | 27 |
| 緊急保育 | ０ | ０ | ０ | ０ | ０ | ０ | ０ |
| リフレッシュ | 1 | 1 | 1 | 6 | 7 | 6 | 6 |
| 計 | 18 | 18 | 22 | 30 | 41 | 28 | 33 |
| 事業内容 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 備考 |
| 非定型保育 | 24 | 23 | 22 | 30 | 30 | 291 |  |
| 緊急保育 | ０ | ０ | ０ | ０ | ０ | ０ |  |
| リフレッシュ | 6 | 8 | 10 | 9 | 11 | 72 |  |
| 計 | 30 | 31 | 32 | 39 | 41 | 363 |  |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年間合計　363名

8.事故報告

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 対象者 | 事故経過 | 現況 |
| 3歳児男児  5月24日  10時30分頃 | 野菜栽培の取り組み前に、担任が種植えの話をしながら種の観察をしていた際、一人が枝豆の種を鼻穴に入れてしまい取れなくなる。耳鼻科を受診し取り除いてもらう。 | 異常なし |
| 1歳児男児  9月28日  10時30分頃 | 散歩後、保育室前のテラスにて沐浴をした後、保育室に入ろうとして滑って転倒。後頭部を強打し負傷。瘤ができると同時に出血。外科を受診し縫合。消毒のため５回通院し終了。 | 完治 |

ヒヤリハットや通院に至らない怪我の発生が多々あり、その都度報告・共有し職員会議で確認し再発防止に努めた。

その他、給食関係で、食物アレルギーの誤食が発生した。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 4歳児女児  8月3日  12時30分 | 5歳児クラスがクッキング保育で作ったカレーが余ったため、急遽4歳児クラスにお裾分けをした。その際、アレルギー原因食材のトマトが入っていることに気づき中止にしたが、すでに食べてしまった後だった。保護者に連絡し当該児の体調を観察。体調変化等なく大事に至らないことを確認した。 | 異常なし |

9．労働災害報告

4月　　保育中に中腰姿勢の際、腰椎捻挫。・・・・完治

5月　　通勤途中に自転車で転倒し膝を負傷。・・・完治

園外保育中に木から落下し肋骨骨折。・・・完治

6月　　保育中のリズム運動で左脹脛肉離れ。・・・完治

10.保育運動

保育予算の増額や国の保育士配置基準の見直しを求め、国・横浜市に向けた保育署名に取り組むとともに、対市交渉に3名、駅頭署名宣伝行動に1名が参加した。保育問題協議会や、よこはまの保育を考える園長の会の役員会として園長が加わり、保育の向上に向け他園と交流しながら保育運動を進めた。

2023年度　矢向あけぼの保育園 事業報告

〈保育〉

2023年度は、4月0歳児5名・１歳児4名と１歳児クラスの入所希望が少なく児童確保に苦労した年になった。幼児クラスも年度途中で保護者の転勤や転居のため転園・退園児があった。1歳児クラスの入所希望がなかなかない中、0歳児希望は多く、年度途中で０歳児の定員数を増やし7名まで受け入れた。個別支援保育教育対象児童は7名・要保護児童の対象児は3名（年度途中で2名）と様々な事で支援を求められることが増えた。

行事は、5月8日の新型コロナウイルス感染症の5類移行により、保護者参加できることで、子どもたちの姿や成長を保育士と共有できたことが、より保育の深い理解につながった。4年ぶりの行事の普通開催となったが、準備や過去の資料から職員間の認識の共有まで時間を要する作業がかなりあった。その他、クリスマス会は保護者を呼ぶことが難しい状況だったが、ヒューメディカのご理解があり隣の友の会会館をお借りして開催できた。新しく行事を取り組む内容だったので、担当係だけでなく職員間で様々な話し合いや協力しあうことで、園全体でつくりあげたものになった。

日々の保育をより保護者と共有するためや、乳児・幼児担当している保育士どうしでも状況を見える形で少しでも伝えあえるようドキュメンテーションでの掲示を増やした。園だより・保健だより・給食だよりは毎月発行、クラスだよりは各月発行だけでなく、行事に関しても写真を取り入れたニュースの発行を試みたりした。保護者にも日々の保育が見えることで具体的な子どもの姿や成長、保育についての理解、関心が深まった。

　年長児の取り組みでは、鶴見園との交流や他園との交流、公共機関を使用した遠足など活動の場を広げていく事ができ、あけぼのとして大切にしている実体験を通して成長していく事の実践を深めることができた。

　個別支援保育教育対象児童が多くなり、幼児クラスでの活動をどのようにつくっていくのかを考えさせられる年でもあった。異年齢を主軸としながらも意図的にクラス別のグループ活動も主活動の中に取り入れ子どもたちの成長を促してきた。

　家庭支援としての大きな役割を担ってきた。保護者の状況を理解しながら、子どもが安心していられる場をつくっていく事を念頭におき、なるべく保育園に通っていただけるよう配慮した。

　保育の在り方なども、毎年積み重ねてきた実践を大切にしながらも子どもの発達や状況に合わせ柔軟に対応し、日々の保育をつくった年になった。

〈職員体制〉

今年度も、土曜日の保育希望者が多く、パート職員や事務職員（子育て支援員の資格あり）も協力していただいたが、0歳児の利用も多く土曜日の専任の保育士（元あけぼの共同保育所園長）や派遣も配置して体制づくりをしたが、それでも毎月、人の配置が難しい状況は変わらず次年度への課題が残る。

入所児童がなかなか増えない中、常勤職員を雇用することが難しかった。そのような状況の後半で、派遣の職員が契約満了で継続できなかったこと、休職して復帰した職員の病気が再発し退職、常勤職員の産休と変則勤務ができる職員が少なく、年間を通して体制をつくる日々だった。大変な中だったが職員間の工夫や、たまたま子どもの保育人数が少なかった事などで助けられた。綱渡りのような日々だったことは否めず今後、安定した職員配置づくりの努力を強く感じる年になった。

個別支援保育教育対象児童の対応のため、人を多めに配置し対応するが、役所と療育センターの認定まで時間がかかる為、園運営の負担が大きかった。

〈資質向上・職員集団づくり〉

４月より乳児リーダー・幼児リーダーとしての役割を明確にしながら、保育の方向性や主軸を考えるようリーダー会議で話し合い、その後幼児・乳児会議、職員会議と全体で考え保育園の運営をしてきた。

第三者評価の取り組みをする中、保育士どうしでの話し合う機会や保育の確認をする中で認識の違いや保育のマニュアルの理解がそれぞれで、周知されていなかった等のことがわかった。毎日、会議や打ち合わせなどの会を子どもの昼寝の時間帯で行ってきた。今年度は、養護という保育所保育指針の認識の共有のため、KJ法を活用しグループワークなどもおこなった。

全体的な確認やすぐに解決や対応をもとめられるものは、ミーティングノートで情報を共有した。各クラスの保育の内容や子どもの状況・保護者の状況の情報共有、園運営や保育情勢などの確認は職員会議で行い、細かい現場での子どものケースや保育の計画などのPDCAサイクルに基づいた考え方など、幼児・乳児会議を中心に話し合いを続けてきた。少しずつ、一人ひとりが考えて保育をつくりだすことや、担当者任せにしない意識が育ってきた。

事故防止・防災防犯対策チーム会議では、引き取り訓練の見直しを行いシステムの再構築を行った。話し合いや情報の収集、準備と時間がかかったが、職員ひとりひとりの危機意識が高くなってきた。

虐待要件や家庭支援を必要とする園児に限らず、家庭支援という観点での現場対応を求められる事が多かった。特に保護者対応のことで伝え方や受け入れに対する配慮など、保育士自身の認識の改革の必要性があり、園長・主任を中心にしながら問題定義や考え方のとらえ方を確認しながら進めた。

７年の保育経験を有している保育士が多くキャリアアップ研修へほとんどが参加をし、１分野ないし場合によっては2分野を取得した。今まだ進めてこなかったことでもあるが、一人1分野15時間を必要とするため資金や時間の保障などの課題が残った。

園長との面談は、一人だけの対応でなく法人の事務局長や鶴見園園長にも協力していただき個人対応をなるべく行わないようにした。職員の意見などにも積極的に対応し職員の集団での話し合いに反映させた。

職員の自己評価の取り組みができていないので、次年度では、自己評価を職員の意欲につながるようなものにしていくため、見直していく必要性を感じた。

〈安全事故防止・危機管理〉

5月よりコロナが５類への対応となったが、職員は感染防止のため濃厚接触者の対応は以前のような対応を続け安全強化をはかった。保護者（医療関係者が多い）からの意向もありマスク対応は慎重に進めた。現在も、個人の判断もあるが状況に応じて対応をしている。行事では、今年度から保護者参加の形にもどし開催をおこなった。感染症対策も行い少しずつ参加者を増やし、開催の方法（2部制など）を工夫した。

2023年度より、安全計画を作成しその計画にそって避難訓練や研修、マニュアルの見直しをおこなった。引き取り訓練では、再度システムの見直しを安全対策チームの職員を中心に行い、引き取りカードなどを発行した。緊急の場合の対応を実際に保護者とも協力して行った。

　毎月、担当者を中心に避難訓練を実施、ヒューメディカの担当の職員も参加していただき連携を図った。AEDや消火器の実地訓練も矢向消防署の協力のもと開催でき確認の場になった。

　要保護児童についての地域での会議も、定期的に行い児童相談所・区の家庭支援員・小学校の先生・保育園と関係者が集まって情報の共有を行い様々な支援の連携をとることで、家庭支援につながった。

〈保護者との連携〉

　夏まつりの行事から、保護者会と連携しての開催になった。保護者会としてもお店を出すことになったが、以前の取り組みの経験がない保護者がほとんどだった。その中でも、保護者会役員が中心になり楽しい企画を考えてくれた。事務員が保護者会の窓口になりながら、保護者との関係を深めた。

プールの設置や文集作成は、今年度も担当を決め係として助けていただいた。保護者会主催での木のおもちゃで遊ぶ会を設け園に呼んでいただいた。

　保育参加・参観も行い、園の給食もこの機会に、食べてもらった。その後、個人面談も行い日頃の保育園での様子と子育ての相談をしあう機会になった。

　三者懇談会では、保護者会としてアンケートを毎年とっている。今年度は要望や意見が少なく、保護者との信頼関係の改善が進んできた。写真のデータの有料化についても保護者会を中心にアンケートをとり、園運営を助けていただいた。保護者会への職員参加も求められているので今後は、現場職員との連携も進めていく必要性がある。

〈地域連携〉

　尻手スマイル保育園と矢向つぼみ保育園は今年度も連携園の契約をした。矢向つぼみ保育園とも契約期間を10年とした。交流ができたらと年度初めお話していたが、夏まつりの声掛けにとどまり、積極的な交流はできなかった。園だより、保健だより、給食だよりなどの情報提供を行った。

　矢向の町会とは連携をとり公園の草刈りの日程など事前に教えていただき散歩の計画に反映させることができた。

　矢向あけぼの共同保育所時代から交流のある人からは、笹やヒイラギを毎年分けていただいたり、子どもたちはクッキーを焼いて持って行ったりと交流が続いている。焼き芋会では、焼いたお芋をヒューメディカやうしおだ総合ケアセンターへ子どもたちが届け子どもたちにとっても良い機会となった。

　コロナ禍の中で、高齢者の施設（わかたけ）との交流は手紙を渡すだけになっていたが今年度は、直接子どもたちの手で渡すことができた。季節が冬だったのでお互い感染症が流行りなんども、延期になったので来年度は時期を検討していくことになっている。

　地域支援として、わらべうたの会は「さんばばの会」として元保育士の方々に手伝っていただき開催した。「いただきます」の映画鑑賞会・ベビーマッサージ・クリスマスコンサートなど開催することができた。

　矢向中学校・市場中学校の職業体験も受け入れた。

　要保護児童対策地域協議会の地区の会議に参加し、地域の中での専門職の連携の情報は知る機会になった。

〈設備関係・修繕関係〉

　地震対策として、転落防止のストッパーを整備する予定だったが次年度へ持ち越しとなった。園庭でお湯が使えるようになっている配管が劣化の為、水漏れをおこし応急処置をおこなった。簡易的な修理しかできず、しっかりとした修理は次年度になった。調理室のスチームコンベクションやガス台など故障などで修理しながらの使用になり、この先は買い替えるかレンタルなどの検討が必要となった。

　1月に、園内の固定電話機とコードレス電話の全ての入れ替え作業を実施し、同時に3階でもWi-Fiルーターを新設した。

　看板の設置について、開園当初からヒューメディカと交渉をおこなってきた。３月に公益財団法人横浜勤労者福祉協会（汐田総合病院）との懇談の中で仲立ちをしていただき設置許可をもらった。

　開所から10年たち、様々なところで修繕が必要だったことや、園児獲得や職員募集などの宣伝としての看板設置・ホームページの再開など進めていきたいが、資金面で難しく着手することができなかった。

〈第三者評価の取り組み〉

・5月　　　 第三者評価機関より取り組み方の説明（職員）

・７月～8月　 職員による保育のグループ討議

・9月　　　　職員全体での討議のまとめと確認

・10月下旬　 関係書類の整備と送付

　　　　　　　利用者のアンケート（WEBで個々に実施）

　　　　　　　職員自己評価（WEBで個々に実施）

・1月上旬　　訪問調査

・2月下旬　　報告書の最終確認

・3月上旬　　WEBにて公表

1.園児数の推移　（通常保育）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位　名）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 定員数 | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 | 開園日数 |
| 4月 | 60 | 5 | 4 | 9 | 11 | 11 | 12 | 52 | 24日 |
| 5月 | 60 | 5 | 4 | 8 | 11 | 11 | 12 | 51 | 24日 |
| 6月 | 60 | 5 | 4 | 8 | 11 | 11 | 12 | 51 | 26日 |
| 7月 | 60 | 5 | 4 | 8 | 10 | 11 | 11 | 49 | 25日 |
| 8月 | 60 | 5 | 4 | 9 | 10 | 11 | 10 | 49 | 26日 |
| 9月 | 60 | 6 | 4 | 9 | 10 | 11 | 10 | 50 | 24日 |
| 10月 | 60 | 7 | 5 | 9 | 10 | 11 | 10 | 52 | 25日 |
| 11月 | 60 | 7 | 5 | 9 | 10 | 11 | 10 | 52 | 24日 |
| 12月 | 60 | 7 | 5 | 9 | 10 | 11 | 10 | 52 | 24日 |
| 1月 | 60 | 7 | 5 | 9 | 10 | 11 | 10 | 52 | 23日 |
| 2月 | 60 | 7 | 7 | 9 | 10 | 11 | 10 | 54 | 23日 |
| 3月 | 60 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 10 | 55 | 25日 |
| 合計 | 720 | 73 | 59 | 105 | 123 | 132 | 127 | 619 | 293日 |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（昨年度比　66名減）

2．人事・体制

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 4月当初 | 園長 | 飯田雅美 |
|  | 主任保育士 | 1名 |
|  | 常勤保育士 | 9名（うち1名育休） |
|  | 契約保育士 | 4名 |
|  | 派遣保育士 | 2名 |
|  | 保育士パート | 4名 |
|  | 保育補助パート | 3名 |
|  | 看護師パート | 1名 |
|  | 栄養師 | 1名 |
|  | 常勤調理師 | 2名 |
|  | 調理パート | 2名 |
|  | 事務員 | 1名 |
| 年度初職員数　常勤15名、契約4名、パート10名、派遣2名　計31名 | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 4月 | 常勤保育士 | 育休　　　　1名 |
|  | 派遣保育士 | 新規契約　　1名 |
| 6月 | 常勤保育士 | 名前変更　　1名 |
| 9月 | 派遣保育士 | 契約満了　　1名 |
| 10月 | 調理パート  契約保育士 | 新規採用　　1名  退職　　　　1名 |
| 12月 | 保育士パート | 新規採用　　1名 |
| 1月 | 常勤保育士  保育士パート | 産休　　　　1名  退職　　　　1名 |
| 2月 | 契約保育士 | 契約の変更　1名 |
| 3月 | 常勤保育士 | 退職　　　　1名 |
|  |
| 年度末職員数　常勤15名、契約4名、パート10名、派遣1名　計30名 | | |

3.会議・行事

　今年度も、子育て中の職員の参加を確保するため、職員会議は平日の日中を中心に開催した。重要な内容を検討するところは土曜日・夜に開催し時間をかけて討議・検討、様々な形で取り組んだ。子どもが寝ている時間帯に会議をする為、職員の休憩保障や全員参加が難しかった。パート会議も新たに設け仕事の細かい打合せだけでなく子どもへの配慮など保育の中で重要と思われることを話し合った。パート職員も保育現場の重要な役割を担っているので会議や打ち合わせで共通認識をつくっていく重要性を感じた。

（1）会議・健診

　・毎月実施 リーダー会議（園長・主任・リーダー）、職員会議

乳児会議、幼児会議、ゆり組会議、ひまわり組会議、

給食会議、

　　 園児身体測定、避難訓練、誕生日会、職員腸内細菌検査

　・年2回実施　 園児健康診断（5月・10月）

歯科検診（6月・11月）

　・年1回実施　 3歳児視聴覚検査（11月）、尿検査（11月）

　　　　　　　　　　 職員健康診断（12月～1月）、大掃除（3月）

　・不定期　 　　　 第三者評価会議（5月～9月まで／月3～4回）

　　　　　　　　　　 パート会議（年／3回）

　　　　　　　　　　 チーム会議（年／1回～2回）、各行事打合せ会議

（2）行事

4月 保育説明会

　　　　　　　 春の遠足（幼児クラス遠足／町のはらっぱ）

　　　 5月 　　　 懇談会

7月 　　　 夏まつり・プール設置

　　　　　　　 七夕会

木村順先生（作業療法士）療育巡回訪問

8月　　 スイカ割り

　　 9月　　　　 お泊り保育（年長児）

　　　　　　　　　　 プール解体

10月　　　 お月見団子作り（幼児クラス）

　　　　　　　　　 東部療育センター巡回訪問

　　　　　　　　　　 年長児近隣保育園との交流

　　　　　　　　　　 運動会（矢向中にて保護者参加あり）

芋ほり遠足（幼児クラス）

　 全クラス保護者の保育参観・参加・個人面談10月～2月

　　 11月　　　　 焼き芋会

視聴覚検診（3歳児）

棗田さんお話会（幼児クラス）

木村順先生（作業療法士）療育巡回訪問

大掃除

12月　　　 矢向中学校職業体験

　　　　　　　　　　 年長遠足（プラネタリウム・科学館）

職員インフルエンザ予防接種実施（園より半額補助）

クリスマス会（保護者参加）

もちつき

　　 1月　　　　 木のおもちゃで遊ぶ会

2月　　　 市場中学校職業体験

　　　　　　　　　　 新鶴見小学校のウィンターフェスティバルに参加（幼児クラ

ス）

節分

　　　　　　　　　　 クラス懇談会（全クラス）

　　　　　　　　　　 鶴見園で太鼓演奏会を体験（年長児）

3月 　　 ひなまつり会

　　　　　　　　 新鶴見小学校1年生との交流（年長児）

卒園式

　 おわかれ遠足・幼児クラス合同（佃野公園）

　 ちゅうりっぷ組遠足（元宮さわやか公園）

　 年長遠足（プラネタリウム・科学館）

　 進級お祝い会

記念文集第号10号発行

新入園児説明会・面談

4.職員研修

　　キャリアアップ研修（2023年度は処遇改善加算Ⅱ対象者は2分野又は1分野、職員処遇改善費対象者は1分野）の修了が職員の処遇改善費獲得の対象になるため、対象職員はキャリアアップの研修に参加した。ほとんどの職員が対象な為、土・日曜日やZOOM等を活用した。その他、幼保小の接続期での研修は、実地見学などコロナが５類になった事で再開されたので積極的に参加した。年１回の木村順先生の夜の勉強会も開催し、専門的な学びを深めた。合研・音楽教育の会は、現地参加が難しいのでZOOMで参加した。園長向けのカンファレンス研修３日間だったが園運営の情報を得る場として参加した。自由参加であったが、地域支援でも上映した「いただきます。」の映画鑑賞を別日に行い、日々の保育への刺激や気づきをつくる機会になった。

職員の研修の個人カルテのようなものを作成することになっていたが、今年度はできなった。（別紙参照）

5.施設整備・修理・購入品

4月 スチームコンベクションカートリッジ交換（ホシザキ）

　 　 園庭砂場（土を足す）

　　 コピー機点検（大塚商会）

　　 5月　 　 ピアノ調律（河合楽器）

ダムウェーダー点検（クマリフト）

食洗器・冷蔵庫・食器保管庫点検（ホシザキ）

　　 7月　　　　 消防署立ち入り検査

グリストラップ点検（ウォーターフィールド）

ダムウェーダー点検（クマリフト）

　　 8月　　　 戸外お湯配管故障-配管修理（山崎工務店）

　　　　　　 　 害虫駆除（ブラザー興業）

9月　　　　 給食食材の放射性物質測定（横浜市子育て支援課）

ダムウェーダー点検（クマリフト）

食洗器・冷蔵庫・食器保管庫点検（ホシザキ）

　　　　　　 エアコンクリーニング（フォースクリーン）

　 10月　　　 乳児用ワゴン車パンク修理

　 11月　　　 ダムウェーダー点検（クマリフト）

ゴキブリ駆除作業（ブラザー興業）

12月　　　　 食洗器・冷蔵庫・食器保管庫点検（ホシザキ）

　　　　　　　 エアコン修理、園内換気扇クリーニング（フォースクリーン）

1月　　　　 ダムウェーダー点検（クマリフト）

　　　　　　 ダムウェーダー基板交換（クマリフト）

　　　　　　　 電話交換（ＮＴＴ）

　　　　　　 害虫駆除（ブラザー興業）

2月　　　　 冷蔵庫点検（ホシザキ）

3月　　　　 ダムウェーダー点検（クマリフト）

スチームコンベクション修理（ホシザキ）

　　　　　　　　　 消防設備点検（共栄防災）

6.地域子育て支援事業

（1）施設の地域開放

毎週第木曜日の午前10時～12時の間で実施。

（2）交流保育　　 7月1日 夏まつり（園の行事に参加・体験）

　　　　　　　　　 7月15日　 わらべうたで遊ぼう

　　　　　　　　　 11月22日 語りの会・手あそび

　　　　　　　　　 12月2日　　 おやこで楽しむクリスマスコンサート

（3）育児講座　　 4月15日　　 離乳食講座

　　　　　　　　　 6月24日　　 ベビーマッサージ講座

　　　　　　　　　 11月22日　 ベビーマッサージ講座

　　　　　　　　　 2月10日　 「いただきます」の上映会

7.一時保育事業

　年間を通して、職員体制が不安定だったため受け入れが無かった。

1. 事故報告

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 対象者 | 事故経過 | 現況 |
| 4歳児男児  12月15日  16時20分 | ゆり組の部屋で、保育士の隣に座り遊んでいた、その保育士の反対側にパズルのピースを両手に持ち回ろうとしたとき、保育士の足につまずき、前方に置いてあった椅子に下顎をぶつける。傷から出血が止まらなかったので、形成外科に受診。縫うほどではないと診断を受け、自然治癒を待つことになった。 | 完治 |
| 5歳児女児  1月22日  18時 | ホールで、氷おにで遊んでいた。子どもどうしで追いかけている時、Tちゃんの耳とSちゃんの上前歯の部分がぶつかる。Tちゃんの耳は、腫れもなく大丈夫だったが、Sちゃんの歯茎が青紫になり歯のぐらつきがあった。  　その日は、時間が遅く病院対応ができないため、次の日に、歯科医を受診対応する。レントゲンの結果、乳歯の歯で根元がなく元々ぐらついていた歯であったと診断。心配いらないと言われた。 | 異常なし |
| 5歳児男児  2月27日  18時5分 | ホールでごっこ遊びから鬼の遊びに変わり、布をマントにして追いかけっこが始まる。その時、鬼役をした子どもが布に足を取られ転倒。鼻を打った為、鼻血がでる。  　鼻に少し腫れが見られたが、鼻血が止まったので帰宅。その後、頭痛を訴えていると園に電話あり、病院を探すが対応してもらえる病院が見つからなかったが、一時間後に治ったようなので様子をみると保護者と確認しあった。次の日、鼻の骨折の心配もあり耳鼻科受診対応をする。触診の感じで折れてはいないとの診断でその後、腫れがひき鼻の曲がりが気になる時は、再度、受診して欲しいと言われ、様子をみた。腫れは次の日にはひき、母に確認し鼻の曲がりも見られず、再受診は行わなかった。 | 異常なし |

大きな事故はなかったが、夕方のホールや室内での事故があった。18時前後は保護者の、迎え時間帯で保育士は保護者へ日中の出来事や伝えなければいけない事などの対応に追われる時間帯である。保育士の人手も少なくなるので子どもから注意が離れやすい。子どもも疲れや、集中力が散漫になりやすいので遊び方など設定は考えなければならない。特に年度後半になり、年長児は身体が大きくなるので動きが大胆になるのも考慮することが必要だった。

　もっとも困ったことは、18時を過ぎると受け入れてくれる病院がない為、大きな怪我でないかぎり、次の日に対応せざるを得ない状況だった。

　今年度から、ヒヤリハットの用紙・事故の用紙・かみつき、ひっかきの用紙を別にして事故の傾向や保育士の意識の持ち方を変えていくようにした。以前より、ヒヤリハットについての報告が増え職員同士での情報共有もおこなった。

　保育園ではないが、自宅や家庭保育の中で大きな事故（骨折・一番上の階段からの転倒）があり、保育の中でも怪我しやすい子どもの安全面も心がけ共有した。

9.労働災害報告

　10月　保育中に突然、後ろから子どもに飛びつかれ、その後　首・背中・腰の

　　　　痛みと吐き気を催したので受診する。治療の為、通院。

10.保育運動

　保育の情勢の変化や国や市の施策など、情報発信を心掛けてきたが署名などの取り組みや、関心の広がりまでには、至らなかった。区の交渉には、職員が参加し意見を伝え、園長の会で開催された対市交渉に園長・職員で参加した。横浜市の保育情勢・保育施策の考えが聞け、様々な保育園で起こっている状況も生の声として横浜市の関係者に届けることができた。